

平成24年度

長岡京市立中学校国際理解教育推進事業

米国マサチューセッツ州
アーリントン姉妹都市訪問
報告書

長岡京市立中学校国際理解教育推進協議会

は じ め に

学校教育課総括指導主事
本 島 知 樹

4月25日から5月5日までの11日間、中学生16名、高校生5名、引率者5名の計26名で、長岡京市の代表として、アーリントンを訪問してきました。

今回の訪問団のキャッチフレーズは、「チャンス・チャレンジ・チェンジ」の3つのCとさせていただきます。

1つ目のCは、「チャンス」です。

中学生の訪問団員は、110名ほど応募があった中から選ばれたメンバーです。今回の訪問を、人生のチャンスととらえて活動してほしいと考えました。

2つ目のCは、「チャレンジ」です。

アーリントンでは、様々なプログラムが用意されています。活動には積極的にチャレンジし、長岡京市やアーリントンの文化や歴史についても向こうの方と交流し、友好を深めてきてほしいと考えました。

3つ目のCは、「チェンジ」です。

自分たちの国際感覚を磨くいい機会なので、いままで日本で学んできたことを、より広い視野で考えられるようチェンジしてもらいたいと考えました。

訪問団員は、この3つのキャッチフレーズを大切に、長岡京市の代表として、日本の文化、長岡京市の文化をアピールすることにより、アーリントンの人たちに感動を与え、アーリントンとの交流を深めてくれました。

また、アーリントンの訪問を終えて、「物事に積極的に挑戦するようになった」、「英語をもっと話せるようになりたい」という気持ちが訪問団員の中に芽生え、今後の生活にプラスになると感じました。

今回の訪問を通して、アーリントンの人たちに再度感謝を申し上げたいと思います。小・中・高等学校での歓迎はもとより、タウンミーティングでの団長挨拶や団員の紹介などもあり、まちをあげての歓迎をしていただきました。特に、桜祭は3年目を迎え、充実した取組となり、長岡京市との交流を大切にしていこう姿勢を強く感じました。

さらに、ホストファミリーの子どもたちへの懇切丁寧な対応にも頭の下がる思いでありました。アーリントンでは、姉妹都市締結30周年に向けた取組も動き出していると聞き、まちをあげての交流の気運がいままで以上に高まってきているように感じました。

終わりにになりましたが、本事業の実施に御支援いただきました関係者の皆様に、心より厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

目 次

はじめに

I 訪問の部

1	訪問団員名簿	1
2	訪問日程	2
3	生徒感想文	4
4	アーリントンだより	15

II 来訪の部

1	訪日団員名簿	21
2	訪日日程	22
3	訪日団引率者挨拶	24
4	訪日団生徒挨拶	27
5	アーリントン訪日団友好紀行	30

I 訪問の部

1. 訪問団員名簿

役員・引率者

役職	氏名	備考
団長	本島 知樹	長岡京市教育委員会 総括指導主事
引率	仲村 久美子	長岡第四中学校 教諭
引率	田中 ゆき子	長岡京市 外国語活動指導員
コーディネーター	遠山 園栄	長岡京市 国際理解教育交流指導員

生徒

学年	生徒氏名	備考
2 年	大村 剛史	長岡中学校
3 年	片山 実咲	長岡中学校
3 年	坂口 桃佳	長岡中学校
3 年	土田 知春	長岡中学校
2 年	中村 聡一郎	長岡第二中学校
3 年	麻田 侑助	長岡第二中学校
2 年	浅居 彩乃	長岡第三中学校
3 年	小川 愛佑美	長岡第三中学校
3 年	川上 摩子	長岡第三中学校
3 年	浦川 紗英	長岡第三中学校
3 年	福井 彩佳	長岡第三中学校
2 年	前田 陽穂	長岡第四中学校
3 年	中小路 初音	長岡第四中学校
3 年	公手 智生	長岡第四中学校
3 年	大熊 聖怜	長岡第四中学校
3 年	中村 愛美	長岡第四中学校

高校生訪問団

役職・学年	氏名	備考
団長	西山 尚幸	西乙訓高校 英語科教諭
2 年	内田 有皆	西乙訓高等学校
2 年	川瀬 貴子	西乙訓高等学校
2 年	長谷川 真大	西乙訓高等学校
2 年	吉田 明嵯日	西乙訓高等学校
2 年	木村 安佑	西乙訓高等学校

2. 訪問日程

月 日(曜日)	時 間	行 程
4/25 (水)	13:00 14:30 17:15 11:00 14:00 22:30 23:30	中央公民館集合・出発 関西国際空港到着 関西国際空港出発(日付変更線を通る) サンフランシスコ到着 サンフランシスコ出発 ボストン到着 アーリントン到着・その後ホストファミリー宅へ
4/26 (木)	8:30 10:00 14:00 18:00	アーリントン高校集合 スターブリッジ・ビレッジ到着 スターブリッジ・ビレッジ出発 アーリントン高校到着
4/27 (金)	7:15 14:30 18:00 20:00 22:00	オトソン中学校訪問(交流プログラム参加) ピザパーティ 桜まつり ダンスパーティ ダンスパーティ終了
4/28 (土)		ホストファミリーディ
4/29 (日)	9:45 11:00 14:30 17:45 18:30 19:00	アーリントン高校集合・ボストン港へ出発 ボストン港でクジラ観測船に クインシーマーケットでショッピング クインシーマーケットでケビン・グリーリーさんによる宝探しゲーム クインシーマーケット出発 アーリントン高校到着
4/30 (月)	8:45 12:30 19:00 20:00 20:45	ビショップ小学校訪問(交流プログラム参加) プルーデンシャルセンター見学 スクールバスでタウンホールへ移動 タウンミーティング見学 タウンミーティング見学終了
5/1 (火)	9:45 10:15 11:00 14:00 16:30	アーリントン高校集合 ハーバード大学訪問 ハーバードスクエアにてショッピング ハーモニックス訪問 アーリントン高校到着

月 日	時 間	行 程
5/2（水）	7:15 17:30 19:00 23:00	アーリントン高校訪問（交流プログラム参加） スクールバスでアーリントン高校からフェンウェイ・パークへ移動 ボストン・レッドソックスの試合観戦 試合観戦終了
5/3（木）	9:00 10:30 13:00 13:15 18:00 21:00	ロビンス図書館集合・見学 サイクリングツアー出発 サイクリングツアー帰着 チリー・カウ アイスクリームショップへ タナー家にてお別れ会 お別れ会終了
5/4（金）	4:15 06:00 10:00 11:30	アーリントン高校集合・出発 ボストン空港出発 サンフランシスコ到着 サンフランシスコ出発（日付変更線を通過）
5/5（土）	15:15 18:00	関西国際空港到着 長岡京市役所到着・解散

3. 生徒感想文

長岡中学校 二年 大村 剛史

「何か質問はありませんか？」と、授業中や何かの集まりで言われた時、あなたならどうしますか？アメリカ人と日本人の間には、ほとんどの場合その答えに違いがあります。オトソン中学校で授業を体験した時、生徒たちは授業中でも積極的に質問していました。この光景はアメリカでは当たり前です。でも日本では、恥ずかしさや全体の雰囲気から、めずらしい光景であると思います。

生活の中でも、毎日お風呂に入らないとか、土足で家に入るとか、驚くような光景だらけでした。そんな状況の中で、僕はこんな考え方で過ごしていました。それは、理解するのではなくて受け入れるということです。アメリカでの生活の中でぼくが理解できないことは多々ありました。それをひとつひとつ理解しようとしても理解できないし、過ごしづらくなってしまいます。僕も、来て間もないころはそうでした。でも、それから理解できないことも受け入れて、まずやってみようすると、新たな発見があり、アメリカの生活も過ごしやすくなりました。この考え方は、外国に行ったときだけ適応するわけではなく、日本の中でも応用できると思います。たとえば、全く性格の違う人が同じクラスにいるとき、理解できないから接しないのではなく、受け入れて一度話をしてみれば、学校生活はもっと楽しくて豊かになると思います。その一つの考え方を取り入れただけで、将来の自分の社会人としての器の大きさや、視野の広さは大きく変わってくるでしょう。そんな考え方を得ることができたアーリントンでの経験は、すごく貴重だったし、アーリントンに行かせてくださった長岡京市や先生方には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

長岡中学校 三年 土田 知春

私がアーリントンに到着するまでに、一番最初に英語を使ったのはサンフランシスコの空港での入国審査でした。とても怖そうな審査官に速い英語で質問されましたが、なんとか答えることができました。これから始まるのだ、と身が引き締まる思いでした。そしてホストファミリーは、家に到着しとても緊張していた私にやさしく話しかけてくれました。英語がちゃんとした会話となって話せた時は、本当に嬉しかったです。

私はアーリントンに行き、様々な事を体験し成長できたと思います。その中で、私の一番の財産となったのは、一緒に行った仲間との出会いです。半年間の勉強会や鳴子踊りと長岡京音頭の練習を通してチームワークが深まりました。みんなと行動を共にしている間、常にみんなが笑っていました。日本に帰って来た後も、ずっとこの縁が続けばいいと心から思っています。本当にありがとうございました。

長岡中学校 三年 片山 実咲

4月25日～5月5日までアーリントンでホームステイをしました。私がホームステイした家は5人家族で、とても5人で住んでいるとは思えないほど大きな家に住んでいました。3階までであるのに、まさかの地下がありました。その家族は、良い人ばかりで私たちが一生懸命伝えようとしていると、しっかり待って聞いてくれたり話してくれたり、買い物に連れて行ってくれたりしました。8歳の男の子は、部屋を案内して説明してくれたり、14歳の女の子とは、一緒にWiiを使ってダンスをしたり、12歳の女の子は、アメリカのSeventeenの雑誌に載ったほど可愛い子で、その子とは中学校を訪問した時に、一日中一緒に回って友達に紹介してくれたり、教室に連れていったりしてくれました。

アメリカに行って一番印象深かったのは、たくさん関わった人たちや町の人たちが、とても良い人たちばかりだった事です。アメリカに入国する時、色々聞かれるのですが、とてもいかつそうな人で怖いな、と思ったけど、とても優しい人でした。その他にも学校の人たちは、自己紹介してくれたり、一緒に行動してくれたりしました。店の店員さんも笑顔で話してくれて、アメリカの人たちはすごく親切な人たちばかりだなと思いました。心が広くて穏やかで、良い性格だなと思いました。これからは、私も心が広くて穏やかで親切な人になりたいと思いました。

長岡中学校 三年 坂口 桃佳

オトソン中学校を訪問した時にまず私が感じた事は、中学校のみんなが温かいという事です。廊下を歩いていると、見ず知らずの私にほとんどの人が、「Hi!」や「Hello!」と声を掛けてくれました。日本だったら、中学校にアメリカの人が来ても、自分から声を掛ける人はほとんどいないと思います。アメリカの中学校を見るまでは、日本の中学生は普通だと思っていたけど、日本の中学生は閉鎖的な人が多いんだなと思いました。だから、私はアメリカの中学生のようになりたいと思いました。

二つ目に感じた事は、男女も含めてみんな仲が良いと言う事です。例えば、技術の時間に一人の女の子が木の板に穴を開けられずに困っていると、周りにいるたくさんの男の子や女の子が手伝ってあげていました。他にもそんな光景をたくさん見ました。それは、とてもすごい事だと思いました。アメリカの中学校の授業は、日本の中学校の授業とは全然違って、授業というより、話し合いみたいな感じでした。授業中に寝ている人はひとりもなく、みんな自分から進んで手を挙げて発言していました。なので、授業がとても楽しそうでした。日本の中学校の授業もこんな感じだったらいいのにな、と思いました。

アメリカの中学校の授業に実際に参加して、色々な事を肌で感じる事ができて、とても良い経験になりました。

アメリカは、とても良い国でした。なぜならアメリカ人は、とてもフレンドリーだったからです。中学校訪問の時、何もわからず緊張している僕に、たくさんの生徒が話しかけてくれました。そして色々なことを教えてくれました。「僕の日本の友達」と言って、その子が自分の友達に紹介してくれて、さらに友達が増えました。日本人の他人に対して無関心なところが、恥ずかしくなりました。この友好的な国民性が自由の国「アメリカ」を成り立たせているのだと思いました。

僕は、他にもたくさんのことを大切な仲間と経験することができました。この21人が揃えば、もう怖いものなんかありません。もしかしたらこのメンバーで活動することは、もう無いかもしれません。でも、この最高の仲間と共に、アメリカで色々なことを学べて本当に心強く、幸せでした。こんな貴重な経験を支えてくれた両親、先生、アーリントンのみなさん、そして絶対に忘れられない友達、本当にありがとうございました！

僕は、人と話すのが苦手だったので、事前の学習会でもみんなとはあまり話せなくて不安でしたが、この訪問でみんなとも仲良くなれ、自分でも自分は変わったと思います。

この訪問でたくさんの事を感じ取ることができました。僕が、一番最初に感じたのは、アメリカ人の性格です。僕のホストファミリーは、お父さんがトムで、お母さんがリサで子どもがニックと言います。ホストファミリーディにその3人と一緒に、「USS Constitution」という船がある所に行ったのですが、その船の説明で、リサがとてもたくさん質問をし、知らない人にも質問するし、説明してくれている人がジョークを飛ばすとみんな笑うし、アメリカ人は、すぐにみんな友達になれるんだと思いました。次に感じた事は、アメリカ人はみんなとても優しいという事です。ホストファミリーは、いつでも何か聞いてくれたり、アメリカのことをたくさん教えてくれました。それに、ホストファミリーじゃなくても、普通のお店の人やビショップ小学校、オトソン中学校、アーリントン高校の生徒や先生達もとても優しくていい人ばかりでした。最後にとっても印象深かったのは、アメリカの食事です。朝ごはんには、シリアルがあったけれど、その箱は棚に目一杯つまっていて、夜ごはんはとてもたくさん量を作ってもらったことが忘れられません。

最後に、この団はみんなが仲良く、全員の事をわかり合い、喜怒哀楽をみんなで共有でき、笑顔が絶えない最高の訪問団だと思います。いつかまたこの先生、生徒達と一緒にアーリントンを訪問したいです。

今回私は、アーリントンに行くととてもすばらしい体験とたくさんの思い出ができました。私の中で一番印象に残っているのは、「桜まつり」と、その後の「ダンスパーティ」です。「桜まつり」は、小さい子どもから大人まで、たくさんの人が来ていて、そこで鳴子や長岡京音頭、日本で練習していた歌を披露しました。とても緊張しましたが、皆が喜んでくれて、とても嬉しかったです。「ダンスパーティ」は、中に入った瞬間、音がすごく大きくてびっくりしました。アーリントンの中学生は、そんな音も関係なく、楽しそうにノリノリで踊っていました。最初は戸惑っていた私達を、皆が誘ってくれて、すぐに打ち解けることができ、一緒に踊ることができて楽しかったです。私たちのメンバーで、いつもおとなしい人も、人が変わったように踊っていました。ホストファミリーディも、私の思い出の一つです。その日は、外食をしたり、買い物に行ったり、近所のホストファミリーと一緒にバーベキューをしたり、とても楽しい一日を過ごしました。フェアウェルパーティでは、10日間一緒に過ごしたホストファミリーや、10日間で出会ったたくさんの人たちのことを思ったり、まだアーリントンにいたくて涙が止まりませんでした。

今でも、アーリントンにいた時のことを思い出すと、涙が出そうになります。このプログラムに参加でき、このメンバーと出会えたことは、私にとって一生の宝物になりました。高校へ行ったら、次は一年間アーリントンに行きたいと思います。お世話になりました。そして、ありがとうございました。

私は、海外へ行くのは初めてだったので、不安いっぱいに出発しました。不安いっぱいの中、さらに最初の飛行機で、私はみんなと離れて一人になってしまいました。飛行機に乗るのは幼い時以来だったので、何をどうすればいいのかパニックになってしまいました。その中、隣の外国人がすごく親切に教えてくれました。でも、なぜか私のテレビは映らなかったもので、私はずっと寝ていました。だから、私の旅の始まりは最悪でした。

そして、普段とは違う生活が始まりました。本当のことを言うと、言葉が通じない、食べ物も違うという変化から、私はホストファミリーディまでは、日本に帰りたと思っていました。そのホストファミリーディでは、海に行き「シーグラス」という海の浜辺に落ちているガラスを拾いました。そして夜にはみんなでダンスを踊りました。その日から、私はホストファミリーに打ち解けることができました。打ち解けた日からは、進む時間が早かったです。そうすると、いつの間にかフェアウェルパーティになってしまいました。

今回、アーリントンと一緒にいったメンバーは、すごく仲が良くて、みんな一緒にサングラスを買うほどでした。そして、リーダーのスピーチが始まると、「ああ、終わるんだ」と思い、涙が出てきました。そして、ホストファミリーとお別れの時も、涙が出てきました。涙がでるほど打ち解けられたのだと思いました。過去に行った人たちが、「本当に良い経験をした」と言って帰って来ることは、私には最初は不思議でした。でも、今は違います。今は、色々な初めての体験をして、一生の仲間を作り、「すごく良い体験をしたよ!」と、胸を張って言えます。

私は、このホームスティを通して、自分を変えることができました。以前の私は、意志が弱く自分から話しかけることが苦手でした。しかし、このままでは会ったことのない人と言葉も文化も違う国の中で、良い交流はできないと気づきました。だから、このホームスティの目的は、「自分をしっかり持って、積極的になる。」ことでした。

出発が近づくと、不安になるかな、と思っていましたが、不安はほとんどなく、楽しみの方が大きかったです。それは半年間、仲間とがんばってきた学習会のおかげだと思います。英語の力はもちろん、仲良くなった仲間と一緒にに行ける嬉しさ、心強さです。ホームスティが始まって、私はこれまで覚えた100フレーズを使って話す事ができ、後半には、自分から積極的に話す事もできて、友達もできました。ホストファミリーも一生懸命私の英語を理解しようとしてくれて、優しさが伝わりました。話しかける勇気を持つことができて、本当に良かったと思います。

私にはもう一つ目標がありました。それは、日本の文化を伝えてくることです。私はお土産にホストファミリーの名前を漢字で書いたうちわや、自分の事や日本の季節・行事を紹介したアルバムを作ってプレゼントしました。それらはとても喜んでもらえました。同時に、日本の文化に興味を持ってくれました。帰るまでの間に、ホストシスターのリリアンも私にアルバムを作ってくれました。とても驚いたし、嬉しかったです。私は、この10日間とても有意義な時間を過ごせました。このプログラムやそれに関わってくださった方々、ホストファミリー、友達や家族にとっても感謝しています。これからもホストファミリーや新しい友達との交流を深めていきたいです。そしてまた、絶対にアーリントンに行きます！！

私は、このアーリントンで学んだことがたくさんあります。その中から二つを紹介したいと思います。

まず一つ目は、英語が上手に話せなくても家族や友達になれるということです。私は、ホストファミリーディにホストファーザーとマザーの趣味のフォークダンスのダンスパーティに連れてってもらいました。そこで、同年代の5人と仲良くなりました。私は、「Yeah!」くらいしか言ってなかったし、みんなが何をいっているのかほとんどわかりませんでした。でも、みんなで話しているのはとても楽しかったです。みんなは、「あなたは私達の友達よ!」と言ってくれたし、一人の子は、「私達はベストフレンドよ!」と、言うてくれました。彼女とは連絡を取り合っています。全然言葉では通じ合えなかったけど、とても楽しかったです。

二つ目は、個性の大切さです。アメリカの学校を訪問したときには、とてもびっくりしました。なぜならみんな「個性的」だったからです。ネイルをしている子もいるし、アクセサリーをしている子もいます。また、服装も人それぞれでした。そのことによって個性があって、とても素敵でした。また、人それぞれだったけれど、みんなはとても仲良かったです。全く違う服装をしているし、感じが違う子も仲良く話しているのです。みんなが一人一人の考え方を理解し合っているように感じました。理解し合っているのも、一人ひとりが違うからだだったと思います。

私は、この他にもたくさんの事を学びました。いろいろな考え方や価値観を知ることによって人間的に成長できたと思っています。私は、本当にこのプログラムに参加して良かったです。プログラムを企画してくださった方々、お金を出してくれた両親、支えてくれこの訪問をより楽しくしてくれた友達、アメリカで出会ったみんな、ありがとうございました！

長岡第三中学校 三年 福井 彩佳

私にとってこのアーリントンの訪問は刺激的で、今まで勉強してきた英語をたくさん活かして、友達をたくさん作った10日間でした。最初、ホストファミリーと出会った時、どういう感じで「Hello!」と言ったらいいのか、これから10日間ホストファミリーと英語だけでしっかりコミュニケーションが取れるのか、すごく不安でいっぱいでした。ホストファミリーの10歳のMayが、車の中で私に色々な質問をしてきました。「何歳なの?」とか、時々難しい質問もされ、私がいけないと言うと、小さなホワイトボードを使って書いて説明してくれました。そしていつも私の話を最後まで聞いてくれました。その時、あらためて、英語を使ってコミュニケーションを取ることの楽しさを感じました。

ホストファミリーディにはトレーナーなどを買ってくれて、お世話になっているのに、プレゼントまでもらって、ありがたい気持ちでいっぱいでした。今度アメリカに行く時は、もっと英語力を付けて、ホストファミリーに会って、「英語上手になったね。」と言ってもらえるように頑張ろうと思いました。10日間、面倒をみてくれたホストファミリーと、この訪問を楽しんでくれた20人の仲間と、英語を教えてくださいました先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

Thank you very much!!

長岡第四中学校 二年 前田 陽穂

私の今回の目標は、アーリントンの人達とたくさん話をする事、そして友達をたくさん作る事でした。しかし、出発の前日から体調を少し崩していた私は、飛行機の中の乾燥も重なり、すっぴんの顔を痛めてしまいました。アーリントンに着いた時には、声はがらがらで会話をするどころではありませんでした。しかし、そんな私を心配してホストマザーが、「喉に効くキャンディ」を「2時間おきに食べや」と言って渡してくれました。ホストマザーの優しさと、それ以上に英語を聞きとれた嬉しさでいっぱいでした。ちなみに、私の声が治ったのが3日目の後半。環境にも少しずつ慣れ、身体も元気になってもっともっとアーリントンの人達と話がしたいという気持ちになりました。

小中学校の交流では、初めのうちは、英語が上手に伝わるかどうか心配で、なかなか声を掛けられませんでした。しかし、チャレンジしてみると、どの人も身振り手振りのついたまだまだ未熟な私の英語に耳を傾けてくれて、笑顔で接してくれました。そして全然知らない子でも廊下で会ったらハイタッチをしてくれたり、「Hi!」と声を掛けてくれて、ものすごく嬉しかったです。自分の思いや意思をはっきりと相手に伝えようとチャレンジすることで、相手も私をわかろうとしてくれ、

友達もできました。今回の訪問で「もっともっと英語が上手になりたい」と、強く思いました。今回、一緒に行ったメンバーは、すごく明るくて楽しく、みんなが前向きでした。チームワークも良く本当に良かったと思います。またこのメンバーでアーリントンに行って同窓会がしたいです。最後になりましたが、私たちを支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

長岡第四中学校 三年 中小路 初音

アメリカ人は想像以上に大きくて、人々が親切でフレンドリーに接してくれて驚きました。ホストファミリーは3人家族で、初めはその中に入っていくのかと、とても緊張しましたが、皆はとても温かく私を受け入れてくれました。持って行ったお土産も、とても喜んでくれて、とても嬉しかったです。ホストファミリーディには、モダンアートの美術館へ連れて行ってもらいました。美術館へは歩いてバスや地下鉄を利用して行ったので、疲れたけれど、アメリカの街を楽しむ事ができて、とても良かったです。

オトソン中学校でのシャドーイングでは、本当に授業ごとに教室を移動するので、感動しました。その為、移動時間は廊下は騒がしくなるのですが、すれ違いに「Hi!」と声を掛けてくれるので、とても嬉しかったです。授業ごとの教室でも、フレンドリーに話しかけてきてくれて、日本との違いに驚きながらも、とても楽しい一日を送ることができました。

アーリントンに滞在していたのは8日間くらいでしたが、皆さんとても温かく私たちを迎え入れてくれました。おかげで、とても楽しく交流することができました。たくさんの事を学んで来ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

長岡第四中学校 三年 大熊 聖怜

楽しみにしていたアーリントン訪問。私は10日間数えきれないほどの経験をしました。でも、毎日が新しい発見や驚きばかりで、あっという間に過ぎてしまったように思います。ホストファミリーは5人家族でした。皆とても明るくて、いつも歌を歌ってダンスを踊っていました。私もそんなことをするのが好きで、一緒になって踊っていました。なかなか自分が思っていることや考えていることを伝えられなかったので、歌やダンスは仲良くなる一つのきっかけになりました。それともう一つは、おしゃれです。13歳と14歳の女の子がいたので、一緒にショッピングにいったりネイルをしたりして仲良くなりました。

特に仲良くなったのが、次女の Bella でした。まともに英語を話す事ができない私に、いろんなことを分かりやすく教えてくれました。私と仲良くなるために、ゲームをしたり話をしてくれました。私と Bella は腕を組んで歩くぐらい仲良くなりました。でも、別れはすぐにやってきました。最後の日、なかなか Bella から離れることができませんでした。でも、「今度はもっと英語が話せるようになってから、会いに行く」と約束しました。これからの私の目標です。いろいろな経験をして、新たな目標ができたこのアーリントン訪問は、自分を変えられる良いきっかけになりました。そして一生の宝物になりました。本当にありがとうございました。

僕は、アーリントンに行って気づかされたことが沢山あります。その中で一番大切だと思ったことは、人と人との繋がりであります。僕は、アーリントンに行って6日目の朝、ビショップ小学校でカメラを落として踏んで壊してしまい、すごくブルーな気持ちになっていました。その日はなんとか友達のカメラで写真を撮ってもらい助かりました。次の日、ホストマザーが「誰かカメラを貸してあげてくれないか」と、色々な人にメールを送ってくれたようで、カメラを3つ届けてもらい、そのうちの1つを借りることができました。すごく高画質で、ズームもできて得した気分でした。そこで、人と人との大切さ、ありがたさを身にしみて感じました。

一番良かったと思っているのが、スポーツを通して交流できたことです。オトソン中学校でバスケットをして友達ができただけです。みんな優しくしてくれて、失敗しても「気にしないで！」と言ってくれてとても良い人たちでした。もう一回みんなとバスケットをしたいと思いました。僕も、負けずに頑張っていて、スポーツは人と人との心をつなぐ大切なコミュニケーションの一つなんだと感じました。この6ヶ月間、時間が過ぎるのがとても早く感じられました。新しいことばかりで、知らないことだらけでした。でも、仲間達と共に乗り越えることで、成長していけました。こんな貴重な経験を与えていただき、本当に感謝しています。20人のみんなと行けて良かったです。本当にありがとう！

私のアーリントンでの目標は、「積極的に人と関わる」ということでした。事前の学習会でも、他校のメンバーと仲良くすることができたので、この調子でアーリントンでも頑張ろうと思いました。いざ現地に着くと、周りは本当に英語だけで、何を言っているのか理解できない日が続きました。でも、分からないからと言って受け身になっては目標が達成できません。ちゃんと伝わるか不安だったけれど、ホストファミリーといっぱい話をしました。みんな真剣に話を聞いてくれたし、すごく嬉しかったです。自分の英語はカタコトだけど、英語で関わる楽しさを知りました。私たちは、学校の見学をしたり、授業体験もしました。そこで感じた事は、みんな疑問に思ったことはすぐに手を挙げて質問しているということでした。とても積極的で驚きました。私の、「積極的に人と関わる」という目標は、80%ぐらいは達成できたと思います。残りの20%は、現地で感じた積極性を活かして日本で達成しようと思います。

たくさんの思い出ができたアーリントン。お世話になったホストファミリーや先生、そして友達、関わってくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。みんな本当にありがとう！！

僕は、アーリントンへ行っていた10日間は、町の風景や食事など日本と全く違っており、とても内容の濃い刺激的な日々を過ごすことができました。日本と一番違うと感じた点は、僕たちの身近な学校です。アメリカの学校では、先生はあまり黒板に字を書かず、生徒自身が自分でノートを作っている感じがしました。そして、授業中の発言の回数がすごく多くて、みんな楽しそうに授業を受けているのが印象的でした。アーリントンでは、ホストファミリーや近所の方、僕が出会った現地の方は、みんな僕達にやさしく接してくださいました。ホストファミリーに初めて出会った時は、「英語でちゃんと会話できるかな？」など、色々心配なことがありましたが、気さくに話していただいて、緊張がほぐれ仲良くなることができました。話をしていて、わからなくなることが多くありましたが、ジェスチャーなどで親切に教えていただきました。このことは、とても心に残っています。その他にも、お世話になることがたくさんあり、アーリントンの方々には本当に感謝しています。

この10日間での一番の思い出は、一緒に色々な所を訪れ、色々な経験を積む事ができた仲間との思い出です。もし、僕一人だけだったら、アーリントンでは何もできなかったと思います。この訪問団で出会えた仲間をこれからも大切にしていきたいです。そして、このメンバーでもう一度アーリントンへ行きたいです。この10日間の経験を活かして、自分の将来に役立てたいです。そして将来は、世界を飛び回る仕事に就きたいと思うようになりました。この貴重な経験を活かし、これからも沢山の事に挑戦していきたいです。

私は、この10日間でたくさんの事を見て、感じて、学んできました。その一つが、学校の授業風景です。それは、小・中・高校と3つの学校との交流で知った事ですが、ひとつひとつの授業の印象が強いという所です。私が一番面白いと思った授業は、中学校のラテン語の授業で、その日は話の流れをつかむという感じで皆がルーズリーフを出して12個の枠に分けて、先生が話す場面ごとに自分のイメージした場面の絵を描いてマンガ風にするという授業でした。こんな授業は受けた事がなかったので、私は強い印象を受けました。他にも、英語はひたすら本を読むだけだったし、小テストをして図書館に移動して本を読んで解散など、驚く事はたくさんありました。何より先生が、黒板に字を書く所を見ませんでした。日本と全く違う取り組み方の授業を受けてみて、私はもし日本でこの授業を受けたら勉強が楽しいと感じるんじゃないか、と思いました。でも逆に、そんな授業ばかりだったとすれば、いつ集中するのかとも感じました。

私が授業に参加して学んだ事は、それぞれの国の教育がどれだけ違って、どんな雰囲気の中で授業を受けているのかがはっきりわかりました。10日間の訪問で、数えきれないほどの驚きと、発見と違いを見ることが出来ました。今後、機会があれば他の国も見たいです。

アーリントンでの１０日間は、多くの思い出が詰まった日々でした。初めて日本を離れたので、始めは不安と緊張感でいっぱいでした。けれども、アーリントンに到着した時に、ホストマザーが名前を呼んでくれた瞬間、不安など飛んでいってしまいました。アーリントンでは、何を見ても何をやっても私にとっては新鮮なもので、新たな発見でした。一緒に行った中学生からも多くの事を学びました。ホストファミリーは忙しい中で、いつも私たちの事を気にかけてくれました。一緒にいた時間は短かったけれど、遊園地に連れていってくれたこと、コーディとの散歩、ショッピング、すべて大切な一生の思い出です。言葉が伝わらないこともたくさんあったけれど、単語を並べてでも伝える努力ができました。別れの時は、多くの思い出が一気に蘇ってきて、涙を止めることができませんでした。

ホストファミリーに抱きしめられた時、感謝の気持ちでいっぱいでしたが、その思いを今の自分では伝えられず、歯がゆい思いでした。もっと自分に英語力があれば、感謝の気持ちを伝えられるのに、とすごく後悔しました。私は、アーリントンの人々に積極性を学び、多くの思い出をもらいました。英語に対する見方も、海外の人へ思いを伝えるものになりました。私は、アーリントンに行き、伝えきれないほどの価値のあるものを得ることができました。

アーリントンとの国際交流があるということを知り、私は西乙訓高校へ入学しました。しかし、私は特別英語が好きという訳ではなく、ただ洋楽や洋画が好きだから英語にも興味があるというぐらいの思いでした。そんな思いで申し込んだアーリントンでのホームステイ。１０月から始まった勉強会から実際のアーリントンでの１０日間。私には、感じる事、感じさせられることが多すぎるほどありました。中でも一番感じたのは、やはり人々の優しさ、温かさ、そして笑顔の素晴らしさです。自分の英語力の無さに気付かされ、焦りや辛さを感じる事もありましたが、そんな辛いことなども、笑顔でやさしくコミュニケーションを取ろうとしてくれる人々の温かさによってどんどんかき消されていきました。逆に、こんなにも素敵な人々と出会えたのだから「もっと英語をがんばって、たくさん話をしたい」という気持ちへと変わっていきました。そしてもう一つ感じたことは、やっぱり音楽は世界共通だということです。最高です。言葉がわからなくても通じ合えます。そういうことを実際肌で感じる事ができたというだけでも、このホームステイは自分にとってすごく意味のあるものになったと思います。

学習会も含め、アーリントンでの１０日間、楽しかった事、辛かった事、嬉しかった事、寂しかった事、全てが私の人生にとって素敵すぎる経験となりました。また、これから先、たくさんの国へ行ってたくさんの人々と関わっていきたいです。そしてたくさんの人々から刺激を受け、人々に刺激を与えられるような「自分」になりたいです。

私は、3度目のチャレンジでこの交流プログラムに参加できることになりました。3度目にあきらめずに合格できて本当に良かったと思っています。私はずっと長い間、アーリントンへ行きたいと思っていました。だから現地では、本当に積極的にたくさんの人と話すことができました。アーリントンの人達は、親切で気さくに挨拶をしてくれて、大好きになりました。学校交流プログラムが、私には一番興味深くて、日本の学校との違いを感じられ、新鮮に思いました。アーリントンへ行って、大切な絆がたくさんできました。お世話になったホストファミリーへの感謝の気持ちは、一生忘れないと思います。大変充実した10日間を過ごす事が出来、支えてくださった方々へ感謝します。また、このような機会に恵まれた事を本当に嬉しく思っています。このプログラムは、これからもずっと続いてほしいし、たくさんの人に知ってもらい参加してほしいと思いました。

4. アーリントンだより



アーリントンだより



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.1

★★ 4月26日（現地）の主なプログラム ★★ Sturbridge Village を訪問



日本時間4月25日（水）13時に長岡京市をバスで出発。途中大きなハプニングもなく、ほぼ予定通りアーリントンに到着しました。

ただ、生徒たちにとっては、①飛行機の中の席がばらばらであったため、自分で食事や飲み物を注文しなければならなかったり、②入国管理局では、マンツーマンで滞在先や旅行の目的を聞か



れるなど、いままでの学習の成果を試される場面にすぐに遭遇しました。生徒達は苦労しながら乗り切って、やっとアーリントンにたどりついたと感じているかもしれません。

アーリントンに着いたのは真夜中にも関わらず、ホームステイ先の家族の熱烈な歓迎を受け、それぞれのホストファミリーの家庭へわかれて行きました。



出発前に、ジャスティン先生が「アーリントンは、雨だ」と言われていましたが、いいお天気となりました。



初日の活動は、スターブリッジビレッジ訪問。この施設は、1790～1840年代のニューイングランド地方を再現したアミューズメントパーク。様々な体験ができる施設です。

4つのグループに分かれ、ニューイングランドの当時の人々の姿や生き様を、身をもって体験することができました。





アーリントンだより



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.2

★★ 4月27日（現地）の主なプログラム ★★

オトソン中学校訪問（歓迎会、授業参観）、および、桜まつり参加



朝晩は少し肌寒いアーリントンです。

今日は7時15分にオトソン中学校に集合し、メディアセンター（図書室）で朝食をごちそうに

なった後、歓迎会に参加しました。

歓迎会では、最初にオトソン中学校のティム校長先生からメッセージをいただきました。



長岡京市からは、本島団長、公手君と川上さんが挨拶を行い、その後全員自己紹介をしました。

また、歓迎会に参加したオトソン中学校の生徒達も、劇を発表してくれ、大変盛り上がりしました。



その後は授業に参加。もちろん、英語だけの授業。生徒たちは日本ででの授業以上に集中して

聞いていましたが、普段の倍以上のエネルギーを使ったような表情の生徒もいました。



そして、本日の締めくくりは、午後6時から開催されたさくら祭。長岡京市の

代表として、鳴子踊りや歌を披露。長岡京音頭でアーリントンに大きな輪を広げ、友好を深めることができた有意義な一日でした。





アーリントンだより



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.3

★★ 4月29日（現地）の主なプログラム ★★

ホエールウォッチングとクインシーマーケットでショッピング



今日も、天気がよく、絶好のホエールウォッチングの日となりました。

現地に着くまでは、鯨の姿を見せてくれるかと心配でした。なかなかみんなの思いが鯨に伝わりませんでした。イルカの姿は何度も間近でみることができましたが、鯨の姿を目にしたの

は、残念ながら2回だけでした。

写真では、うまく撮れなかったのですが、仲村先生がビデオに完璧におさめていますので、帰国後の楽しみということにしてください。



ホエールウォッチングの後、ボストン市内のクインシーマーケットで、昼食やショッピングを楽しみました。



ボストンの街並から・・・

ボストンは、アメリカでも五大都市のひとつとして数えられます。高層ビルが多いですが、自然と人間が調和した都市であるように感じました。



桜まつりの中で・・・



紙面の関係で、第2号でお伝えできなかったことを報告します。

生徒たちは、日本文化の紹介として、書道・けん玉・折り紙のコースに別れ、英語で指導することができました。また、中村さんと中村君による、剣道の実践紹介もあり、アーリントンの人たちからもそれぞれの活動に大きな拍手がおくられていました。

そして、サプライズがありました。日本にいるはずのジャスティン先生が会場に現れ、その姿を見た生徒たちはびっくり仰天でした。





アーリントンだより

長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.4

★★ 4月30日（現地）の主なプログラム ★★

ビショップ小学校訪問 プルーデンシャルセンター見学 タウンミーティング見学



本日も、よい天気の中で活動ができました。



ビショップ小学校では、生徒達が鳴子踊りや歌を披露し、ビショ



ップ小学校からは「アルプス一万尺」等、日本の歌が合唱され、楽しい交流の時間を過ごすことができました。

また、この後、生徒たちは2年生の学級で、けん玉コース、習字コース、折り紙コースの指導者として、かわいらしい見



童に英語で指導を行い、日本の文化を紹介する良い機会になりました。



午後からは、ボストン市内にある52階建てのプルーデンシャルセンターへ。最上階でのスカイウォークでは、歓声があがっていました。



その後、ショッピングを楽しみました。

本日の締めくくりは、タウンミーティング。午後8時から開催されたタウンミーティングに招待され、長岡京市からの訪問団として紹介された際、大きな拍手をもらいました。本島団長から市民の方々への挨拶もあり、友好を深めることができた有意義な一日でした。





アーリントンだより



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.5

★ ★ 5月1日（現地）の主なプログラム ★ ★ ハーバード大学とハーモニックスの見学



今日は、残念ながら朝から雨模様の天気でした。



まずは、世界的にも有名なハーバード大学を訪問。広いキャンパスに驚いていました。



図書館や創立者の像の前で興味深いお話を聞かせてもらいました。お話の後、全員、もっと賢くなるようにと願いを込めて靴にさわっていました。今後の生徒達の奮闘に期待したいと思います。



この後、ハーバード大学

の近辺でショッピングをし、それぞれ昼食をとりました。ハンバーガーやピザが人気でした。日本で学習していった英会話の成果が発揮できたことと思います。



昼食後、地下鉄に乗り、ハーモニックスというダンスゲームを作成している会社を訪問しました。

ハーモニックスでは、各部署の方々から、どんな仕事をしているのか詳しく教えていただきました。最終的にゲームが出来上がる工程を分かることができました。



しかも、最後には、ダンスゲームやデジタルロックミュージックなどを体験させてもらい、有意義な体験ができました。

残念ながら、ハーモニックスは、情報が外部に漏れては困るということで、写真撮影ができませんでした。また、ここで知った内容についても絶対に外部に漏らさないということで見学が許可されたので、ご理解をお願いします。

さて、アーリントン訪問も残りわずか。大きなトラブルもなく、生徒たちはアーリントンの人たちと積極的に交流し、元気いっぱい日本のよさを伝え、また、アーリントンのよさを肌で感じとってくれていると思います。

しかも、チームワークが日を追うごとに高まり、生徒たちはひとつになって行動できています。あと数日ですが、さらにがんばることと確信しています。





アーリントンだより



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No.6

★★ 5月2日（現地）の主なプログラム ★★
アーリントン高校訪問とレッドソックス試合観戦



今日も、午前中は小雨が降る中の活動となりました。

まずは、高校の授業に参加をさせていただきました。



ミュージックテクノロジーという授業では、生徒の朗読した声を音楽にのせて編集するという学習活動を体験しました。

体育の授業では、グラウンドに出て、なんとロープクライミングを体験！歓声を出しすぎて声がかかる生徒や



怖くてなかなか登れない生徒がいました。大変スリリングな体験となりました。



交流会では、団長の挨拶や長谷川君と川上さんの挨拶があり、そのあと鳴子踊りや歌を披露しました。長岡京市のパフォーマンスにアーリントン高校の生徒から盛大な拍手で歓迎を受けました。大変有意義な交流ができました。

19時から、フェンウェイ・パークで、レッドソックスとアスレチッ



クスとの試合を観戦しました。試合は、4対2

でレッドソックスが負けましたが、本場大リーグの迫力を感じることができました。

Ⅱ 来訪の部

1. 訪日団員名簿

氏 名		学 年
1. Ms. Julia Harris	ジュリア・ハリス	10（高2）
2. Mr. Daniel Cook	ダニエル・クック	10（高2）
3. Ms. Yana Galina	ヤナ・ガリナ	10（高2）
4. Ms. Maya Volains	マヤ・ボラインス	6（中1）
5. Ms. Eva Czapski	イヴァ・ザプスキー	11（高3）
6. Ms. Sophia Miettinen-Garrett	ソフィア・ギャレット	6（中1）
7. Mr. Christopher Warren	クリストファー・ワレン	9（高1）
8. Ms. Allison Stillerman	アリソン・スティラマン	9（高1）
9. Ms. Anna Chadwick	アナ・チャドウィック	6（中1）
10. Ms. Nika Eringros	ニカ・エリングロス	8（中3）
11. Mr. Michael McGinnity	マイケル・マクミギニティ	8（中3）
12. Mr. Riley Vale	ライリー・ヴェイル	8（中3）
13. Ms. Amelia Ostling	アメリア・オストリング	8（中3）
14. Ms. Grace Gutierrez	グレース・グティエレス	9（高1）
15. Ms. Sara Gutierrez	セイラ・グティエレス	9（高1）
16. Ms. Carrie Anderson	キャリー・アンダーソン	10（高2）
17. Ms. Jasmine Jaafari	ジャスミン・ジャファーリ	6（中1）
18. Mr. Mark McAneny	マーク・マカネニ	Chaperone（教員）
19. Mr. Chris Mahoney	クリス・マホニー	Chaperone（教員）
20. Ms. Kerry Dunne	ケリー・ダン	Chaperone（教員）

2. 訪日日程

月 日（曜日）	時間	概 要
7月6日（金）	20:00	大阪国際空港到着
	21:00	長岡京市役所到着
7月7日（土）		ホストファミリーディ
7月8日（日）	9:20	J R長岡京駅集合・神戸へ出発
	10:30	元町駅到着・南京町散策
	13:00	神戸震災メモリアルパーク見学・神戸港遊覧船乗船
	14:30	モザイクへ移動・解散
7月9日（月）	9:45	市役所集合
	10:00	光明寺見学
	11:30	回転寿司喜楽で昼食
	13:30	三十三間堂見学
	14:15	清水寺見学
	16:30	市役所到着・解散
7月10日（火）	8:30	長岡第六小学校集合（交流プログラム参加）
	12:30	給食体験
	13:30	乙訓高等学校到着・水球クラブ体験
	16:00	市役所にて市長・教育長を表敬訪問
	17:30	市役所にて解散
7月11日（水）	8:30	長岡中学校集合（交流プログラム参加）
	13:30	クラブ活動に参加
	17:00	長岡中学校にて解散

日付	時刻	内容
7月12日（木）	8:45	J R長岡京駅集合・奈良へ出発
	10:30	東大寺・奈良公園を見学
	13:15	奈良を出発
	14:30	大阪城を見学
	16:30	難波にて食事とショッピング
	20:00	市役所に到着・解散
7月13日（金）	8:30	市役所集合・太秦映画村へ出発
	9:30	太秦映画村到着・観光
	12:30	昼食後、岩田山モンキーパークを観光
	14:30	西乙訓高等学校到着（授業・クラブ体験）
	17:30	西乙訓高等学校にて解散
7月14日（土）		ホストファミリーディ
	18:30	さよならパーティ
	20:30	さよならパーティ終了・解散
7月15日（日）	5:30	市役所集合・大阪国際空港へ出発
	8:15	大阪国際空港出発

3. 訪日団引率者挨拶

Speech by Ms. Kerry Dunne
ケリー・ダン訪日団団長挨拶

On behalf of our Arlington delegation, many thanks for your hospitality.
アーリントン訪問団を代表し、みなさまに心よりお礼を申し上げます。

We are so excited to get to know the people of Nagaokakyo, a suburb of Kyoto that is similar in many ways to our town of Arlington, which is a suburb of Boston.

長岡京市が京都市の郊外にあるように、私たちの町アーリントンもボストンの郊外にあります。その意味において、アーリントンと似た環境にある長岡京市の人々にお会いすることを、私たちはとても楽しみにしています。

This is the 28th year of our sister city relationship and we will soon be celebrating our 30th anniversary. Both of our communities should be very proud of both the duration and the intensity of this partnership. It is my hope that exchanges like this one between Arlington and Nagaokakyo continue for at least 100 years to come!

今年は、姉妹都市盟約締結28年目にあたり、まもなく30周年を迎えようとしています。私たちは、両市の絆を長年育ててきたことと、その絆の強さを誇りに思うべきです。アーリントン市と長岡京市の交流がこれから100年は続いていくよう願っています。

On a personal note, I want to note that this is my first return to Japan since working as an ALT through the JET Program in Fukushima prefecture in 1997-1998.

個人的な話になりますが、私は1997年から98年まで福島県でJETプログラムのAETとして働いており、今回はそれ以来の訪日になります。

My time there was simply wonderful, and it was a rare opportunity to experience the slow pace of life in a traditional, and rural Japanese community. Now, I am delighted to return to Japan for an entirely different experience here Nagaokakyo.

その時の滞在は、実に素晴らしいものであり、田舎での伝統的なゆったりとした生活を経験しました。今回は、長岡京で全く違った経験をするために日本に帰って来ることができて、とても幸せです。

Our delegation of history teacher Chris Mahoney, elementary principal Mark McAneny, our 17 Arlington junior high and high school students, and I thank you sincerely from the bottom of our hearts for the time and effort you have put into hosting us here in Nagaokakyo. We will have memories from this trip that will last a lifetime, and hope that you will come visit us in Arlington.

引率の、歴史の教師クリス・マホニーと小学校校長のマーク・マカネニー、そして１７名の中学生、高校生を代表し、私達を長岡京に招くにあたり、大変な尽力をしていただいたことに心から感謝いたします。私たちはこの旅での思い出を一生忘れることはありません。そして皆様もぜひアーリントンにお越しください。

Many thanks and Dozo Yoroshiku Onegai Shimasu.

ありがとうございました。どうぞよろしくお願いします。

Farewell Speech by Mr. Mark McAneny
マーク・マカネニ校長のお別れの挨拶

To our Arlington and Nagaokakyo delegation and host families, a heartfelt, sincere, arigato.

アーリントンと長岡京市の代表団、そしてホストファミリーのみなさんに心から感謝いたします。

Our ten days here have been nothing short of spectacular! We have appreciated the care, detail, and forethought you all have put into our daily agendas and home stays.

この10日間は、まさに圧巻でした。毎日の日程やホームステイに込められた、細やかな思いやりや御配慮に心から感謝申し上げます。

We hope that someday we are able to repay you by hosting you, a family member, or friend, opening our homes, showing you the same wonderful, careful, hospitality you have given us.

今度は、私たちが皆さんのホストファミリーとして、家族や友人となり、皆さんがしてくださったような素晴らしい心遣いやもてなしで、お返しができることを願っています。

I want to give a special thanks to our organizers, Sonoe, Kenji, and Justin for the planning and execution of every aspect of our trip. Aragoto gozaimas!!

また、この旅の計画を立て、毎日同行してくれた、園栄さん、賢嗣さん、ジャスティンに感謝します。

The Arlington and Nagaokakyo sister city partnership is one to be cherished and continued for many years to come. We are extremely fortunate and grateful to have had this opportunity to travel so far to continue this tradition and friendship.

アーリントンと長岡京の友好関係は、これからもずっと大切に守り、継続させていくべきものです。伝統と友情を育むための旅に参加する機会を持てたことを、心から嬉しく思い、感謝しています。

This is an experience we all will remember for the rest of our lives.

この経験は、私たちの一生の思い出になることでしょう。

4. 訪日団生徒挨拶

Speech by Ms. Eva Czapski 生徒代表イヴァ・ザプスキーのお別れの挨拶

My name is Eva; I am a senior at Arlington High School and the student leader of this year's traveling delegation. On behalf of all these students, arigato gozaimasu—thank you for giving us the opportunity to immerse ourselves in your culture and lives, and to experience the other side of the world in the best way possible.

私は、アーリントン高校3年生のイヴァです。この訪日団のリーダーを務めています。生徒を代表し、地球の反対側で日本の文化や生活に触れる最高の機会を与えていただいたことに感謝いたします。

Our journey in Japan has been beyond words. There is nowhere in the world where I would rather have spent the past ten days. From ancient, ornate temples, to breathtaking cityscapes and countrysides; from the rice fields and mountainsides of Nagaokakyo to its tightly packed houses and buildings; the sights we have all seen here will remain with us for a very long time.

この旅の素晴らしさを、言葉で言い尽くすことはできません。この10日間を過ごすのにより良い場所は、世界中どこを探してもありません。数々の歴史ある壮麗なお寺や、息を呑むほどに美しい街並みや郊外の景色、田園や山並みから、所狭しと立ち並ぶ家々やビル群に至るまで、私たちがここで見てきたものは、ずっと心に残る思い出になるでしょう。

As will the memories of everything we have done: from seeing the Buddha in Nara, to walking freely around Kyoto and Osaka, to feeding real Japanese monkeys only yesterday. The balance here between sacred tradition and urban advancement makes Japan an amazing country to behold. Thank you for sharing this with us.

私たちが体験したことも、全て良い思い出になるでしょう。奈良の大仏を見学し、京都や大阪の街並みを気の向くままに歩き回り、まだほんの昨日のことですが、ニホンザルに餌をやりました。神聖な伝統と先進的な都市部との調和により、日本は注目に値する素晴らしい国となっています。このような体験をさせていただき、ありがとうございました。

Arlington and Nagaokakyo are two very different cities with a common goal of friendship. Our sister-city relationship is unique and important; it bonds two opposite corners of the globe, making the world a smaller, closer place.

アーリントンと長岡京は、友情という共通の目標を持つ、全く異なった二つの町です。私たちの姉妹都市関係は、地球の両端にある二つの場所を絆で結び付けることで、世界をより小さいものにするという、他に類を見ない重要なものです。

Our connection means life-changing experiences for students and teachers like ourselves, as well as greater knowledge of the treasures our planet holds. It means that friendship can withstand a separation of thousands and thousands of miles, getting closer all the while. Without it, many of us may never have seen this incredible country and met such amazing people.

私たちの絆は、地球が持つ偉大な宝物について学ぶことと同様に、私たち生徒や教師が人生を変えるほどの経験をするという、非常に大きな意味があります。つまり、友情は何千マイルもの距離を超え、常に両市をより強く結び付けることができるのです。この繋がりが無ければ、私たちは信じられないほど素晴らしいこの国を訪れることはなかったでしょうし、素晴らしいこの人達に出会うこともなかったでしょう。

We are so grateful to everyone in Nagaokakyo for your hospitality, selflessness, and companionship. In particular, thank you to the host families who made our travels comfortable and enjoyable, and gave us a place to call home. Thank you to Mayor ----- and all the City Office workers, for your generosity and for welcoming us into Nagaokakyo. Thank you to our trip coordinators on either side for making this exchange possible. It was a life changing experience, and I hope to return many times throughout my life.

長岡京の皆さんのもてなしや無私の精神、様々な形で交流をしていただいたことに心から感謝いたします。特に、私たちの旅を快適で楽しいものにしてくださり、「自分の家」と言うことができる場所を提供してくださったホストファミリーの皆さんに感謝いたします。また、小田市長や市役所職員の皆さんには、私たちを温かく迎え入れていただいたことに感謝いたします。加えて、両市でこの交流プログラムのお世話をしてくださった皆さま、ありがとうございました。この訪問は、私の人生を変える体験になりました。これからも、また何度でもここに帰ってきたいと思います。

Domo arigato gozaimashita!

どうもありがとうございました。

Speech by Mr. Michael McGinnity
訪問団員マイケル・マクミギニティの挨拶

I am Michael McGinnity. Dozo yoroshiku onegai shimas. It is my sincere pleasure to be here with all of you.

僕はマイケル・マクミギニティです。どうぞよろしくお願いします。この場所でみなさんにお会いすることができ、本当に幸せです。

My friends, teachers and I have been planning and preparing for this visit for a very long time and it is hard to believe we are finally here.

友人や先生、そして私は、長い間この訪問の準備をしてきました。今は、ついに日本に来ることができたということが信じられません。

Hosting the Nagaokakyo students and teachers in April was a terrific experience for my family and me. Building new connections and friendships makes our visit this week even more special.

長岡京の生徒や先生が4月にアーリントンに来られた際、私の家族がホストファミリーとして訪問団員をお迎えしたことは、私と私の家族にとって素晴らしい経験になりました。そして、これから新しい友情を築き上げていくことで、この滞在はさらに素晴らしいものになることでしょう。

We are learning so much from our generous host families and all of you. We have already seen so much and we are looking forward to visiting more of this beautiful country.

私たちは、温かく受け入れてくださったホストファミリーや市民の皆さんから、既にたくさんのことを教えていただいています。また、これからさらにこの美しい国について多くのことを学ぶのを楽しみにしています。

Again, on behalf of all the students and teachers from Arlington, ARIGATO.

アーリントンの生徒と教員を代表し、もう一度お礼を言いたいと思います。ありがとう。



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 1

★★今日の主なプログラム July 6-8 2012★★

大阪空港到着、神戸ツアー

Arrival (Osaka Airport), Nagaokakyo, Kobe



大阪空港に到着。20時間の長旅でぐったり。
Finally arriving in Osaka after 20 hours!



まだ眠いようです。
Still sleepy...



ホストファミリーとの対面です。
Meeting the host families at City Office!



神戸元町に到着！
Arriving in Kobe via Motomachi station!



神戸の南京町に入るところです。
Entering Chinatown in Kobe!



神戸港をクルーズしています。
Boys on the boat: Kobe Harbor cruise.



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 2

★★今日の主なプログラム July 9 2012★★

光明寺見学、回転寿司体験、三十三間堂見学、清水寺見学

Komyoji Temple, Sushi Train, Sanjusangendo Temple, Kiyomizu Temple



光明寺でお薄の体験をしています。

We enjoyed our first green tea ceremony at Komyoji.



光明寺で和尚さんのお話を聞き入っています。

Learning about Komyoji from the monk.



清水寺の舞台で記念写真を撮りました。

この舞台は、釘を使わずに組み立てられています。

みんな恐る恐る舞台上に上がっていました。

Testing the construction of the main hall's stage at Kiyomizu which was built without using nails.

43 feet high...SCARY!



清水寺で、長寿、学業成就、恋愛成就を願って…

Wishing for long life, success, and love from the clear waters.



回転寿司にやってきました。

We are all excited to ride the sushi train!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 3

★★今日の主なプログラム July 10 2012★★

長岡第六小学校訪問、乙訓高校訪問、市長・教育長表敬訪問

Nagaoka #6 elementary, Otokuni HS, Meeting the mayor



長岡第六小学校を訪問し、折り紙を習いました。
Practicing origami at ES #6.



そろばんを習っているところです。
Learning how to use an abacus with Mr. Ueda,
City Council Chairperson.



乙訓高校で水球を体験しました。
Trying our hands- and our legs-at water polo



水球の試合をしました。勝負は引き分けでした。
Strong efforts and teamwork led to a draw.



市長を表敬訪問しています。
Meeting with Mayor Oda!



7千マイル、28年、両市を繋ぐ友情。
7,000 miles, 28 years, 2 cities, 1 friendship!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 4

★★今日の主なプログラム July 11 2012★★

長岡中学校訪問

Nagaoka JHS



長岡中学校で歓迎会が開かれました。

Nagaoka JHS welcomes the Arlington group.



歓迎のお返しに、歌とダンスを披露しました。

A slice of Americana.



英語のクラスで授業に参加しました。

Extra English student teachers everywhere.



習字のクラスで、自分の名前を漢字で書きました。

We sure did like trying Syuji. (Calligraphy)



お弁当、おいしそう！

Oh Boy! Obento!



ソフトテニスに初めて挑戦！

Discussing soft tennis strategy.



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 5

★★今日の主なプログラム July 12 2012★★

奈良、大阪
Nara, Osaka



奈良公園には鹿がいっぱい！
Learning why Nara is so deer-ly beloved!



鹿と記念撮影をしました。
This picture only cost us a buck!



奈良公園は鹿だらけでした。
Deer, there, everywhere!



大仏の鼻の穴、通り抜け成功！
We boogied through Buddha's nostril!



大阪城を訪問しました。
The only storming at Osaka-Jo was rain.



初めてのお好み焼き！
Our first taste of Okonomiyaki!



アーリントン訪日団 友好紀行

長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 6

★★今日の主なプログラム July 13 2012★★

太秦映画村、岩田山モンキーパーク、西乙訓高等学校
Samurai Park, Monkey Mountain, Nishiotokuni HS



太秦映画村で、お侍さんと一枚！
Posing with a real samurai!



お化け屋敷では恐怖の叫び声が響いていました。
The ghost house was a scream.



猿山には、猿がいっぱい！
A prim-ate spot to see monkeys!



お猿が一匹隠れています。
Find the missing monkey!



弓道は安全第一。先生に教えてもらいました。
Learning Japanese Kyudo: Safety First!



剣道クラブで練習に参加させていただきました。
Taking a whack at Kendo!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 7

★★今日の主なプログラム July 14-15 2012★★

さよならパーティー、出発

Farewell Party, Sayonara!



さよならパーティーで、十日間を振り返っています。
Commemorating a great ten days.



別れの時がやってきました。
Sadly, it's time to leave.



折り紙コンテストをしています。上手く折れるかな。
Don't let the folds fool you!



また会う日まで、さようなら！
Please come back soon!



浴衣を着て「さくら」を踊っています。
Sakura dance in summer yukata!



伊丹空港に到着。もうすぐ出発です。
America, here we come!